

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年7月20日（水）

2 確認箇所

4号機原子炉建屋西側（陸側遮水壁内エリア）

3 確認項目

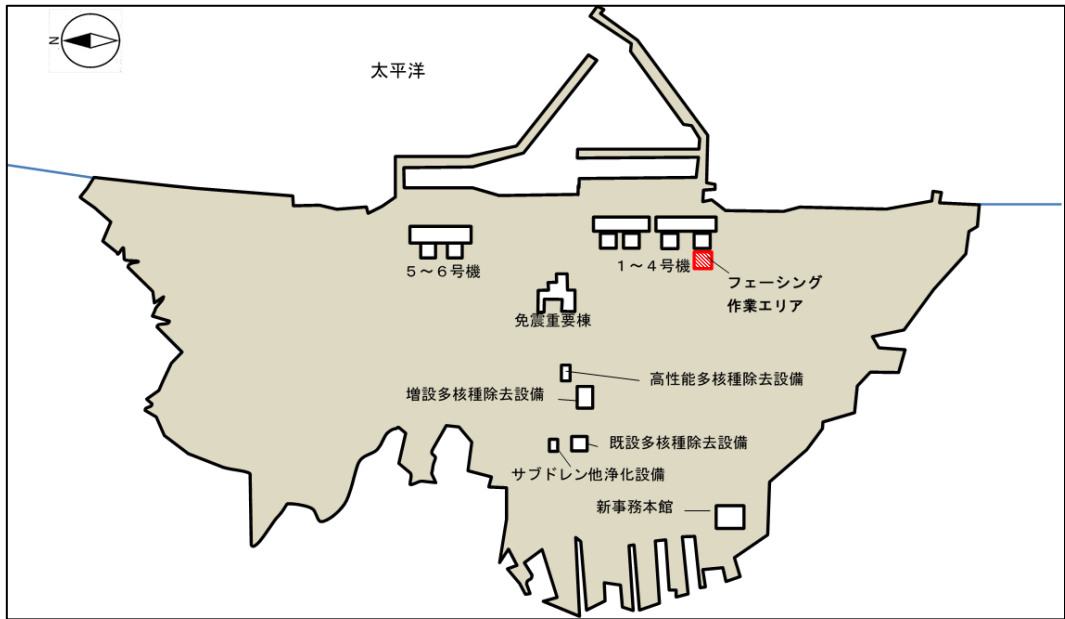
フェーシング工事の状況

4 確認結果の概要

東京電力では、構内の地表面をアスファルト等で覆い、放射線量低減並びに雨水の地下浸透を抑制し、建屋への地下水流入量の低減を図っており、敷地内の計画エリア145万㎡のうち、2022年5月末時点で約95%が完了している。このうち、陸側遮水壁内エリアについては、実施可能な範囲からフェーシング工事を進めており、現在、4号機原子炉建屋西側で作業が行われていることから、その状況を確認した。（図1）

なお、陸側遮水壁内エリアについては、計画エリア6万㎡のうち、2022年5月末時点で約30%が完了している。

- ・現場では通路が西側と東側に分けられ、本日の確認時は西側で作業をしており、東側は通路に鉄板が敷かれ、車両等が通行できる状態となっていた。（写真1）
- ・作業エリアは単管パイプのバリケードで区画されており、フェーシングは既存の地盤に土砂を盛土し、その上に鉄筋で組まれた型枠を設置し、コンクリートを流し込む工法で行われていた。（写真2）
- ・作業エリアの南端には排水枡が整備されており、排水枡には雨水をK排水路に排水するための配管が整備されていた。（写真3）
- ・東京電力では、建屋内への雨水流入対策を進め、2025年以内に汚染水発生量を約100m³/日以下まで低減させるとしている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
フェーシング作業エリアの状況
(北側から撮影)



(写真2-1)
フェーシング作業の状況



(写真 2 - 2)
コンクリート打設前の型枠の状況



(写真 2 - 3)
作業直後のコンクリートの状況



(写真 3 - 1)
作業エリアの南端の状況



(写真 3 - 2)
排水枡内部の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。